

地区労ニュース

81

新年あけましておめでどう御座います。 京都から世直し 京都府知事選挙を勝利しよう!!

4月6日投票で行われる、府知事選に立候補を表明した小児科医の尾崎望氏(京都市民医連会長)を迎えて、世直し!府直し!大集会(民主府政の会)などで行われる実行委員会主催)が昨年11月19日夜、京都市左京区のみやこめつせで開かれ、会場いっぱい(4500人の参加)がありました。

尾崎氏は「ひと・いのち輝く府政へ転換したい」と力強く表明しました。

尾崎氏は、診療の現場で「貧困の再生産」に直面し、政治の責任と役割を感じたことが立候補を決意した理由とのべ、暴走する安倍政権に追従する府政のもとで府民生活は困難を極めています。国の悪政の防波堤となり、安心して住み続けられる京都府を取り戻したい」と語られました。

尾崎氏の人柄と魅力について、難治性疾



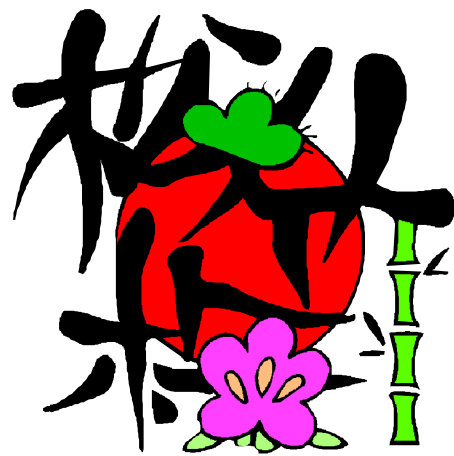
患の長男を診てもらっている風月さつきさん(推薦人)は、素朴で飾り気はないけれども、いつも親身に寄り添ってくれる尾崎先生をみなさんに知ってほしい」と語り、前回知事選で候補者として奮闘した門祐輔さん(京都協立病院院長)は、府北部の医療、介護をしっかり支援する府政を」とエールを送りました。

山田府政の実態について各界の府民が告発。京丹後市米軍レーダー基地配備に反対する地元増田光夫さんは、日本で133番目の米軍基地となる。基地を受け入れる知事には辞めていただきたい」と語りました。国会から駆けつけた日本共産党のこくた恵二衆院議員・国会対策委員長は、消費税増税や社会保障改悪、TPP推進など安倍政権の暴走を府民と一緒にストップさせる尾崎さんを知事にしよう」と知事選勝利を呼びかけました。



当面の日程

14



ご参加をお願いします!

“今、憲法を学ぼう！男も女も幸せに生き抜くために” あさぎりネットワーク会議主催で開催される

特定秘密保護法は、昨年12月5日の参議院安全保障特別委員会で打ち切り、自公両党により強行採決された。数の力で平和と民主主義を脅かす法案を押し通した安倍政権と与党・自公両党への「国会・民主主義軽視」という批判は免れない。この間、急速に広がった国民的な反対運動は収まることなく、廃止させるたたかいへと続いています。



地区労事務局次長
野村 亜紀